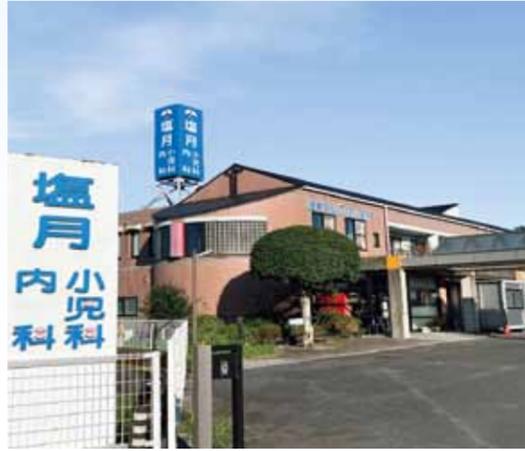


塩月内科小児科医院



院長からひとこと

「地域のかかりつけ医として、患者の立場に立った医療の提供」を目指し大人から小児まで診察、在宅医療、健康診断に力を入れ努力していきます。

【医療機関の先生方・市民のみなさまへ】

1992年10月 内科・小児科を標榜し開院しました。当初の目標は「大人から小児まで、地元地域の一次医療を担うこと。可能な限り患者さんの希望に沿うこと。小児は急患であれば夜間でも診察すること。」を目標に掲げ今年で32年を迎えました。(現在 夜間診察は行っていませんが)、おかげ様で数多くの患者様と出会うことができました。開業当初の小児患者さんが父母になり彼らの子どもさんを診察する機会が多く時の流れを感慨深く感じています。

現在も毎週日曜日は、急患の診察体制をとっています。又受診時行った検査データは、すべて当日 患者さんに提供できるシステムを整え、各医療機関との連携にも提供させていただいています。紹介先として南海医療センターをはじめとする地域の各二次医療病院にお世話になり、又小児科では桑畑先生や西田小児科との連携で医療が継続できることに感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。



医療法人雄生会
塩月内科小児科医院
〒876-0823 佐伯市女島7238-1
TEL 0972-20-0070
診療科/内科、小児科 院長/塩月 一英



連携医療機関の紹介

【医療機関の先生方・市民のみなさまへ】

平成12年6月14日 中の島に開院して25年目に入りました。消化器内科を中心に内科全般の検査・治療を行っています。

「自分の家族ならどうする?」という視点に立ち、症状を見極め診察することを心がけています。

専門性の高い症状であったり、当院での対応が難しい場合は、医療連携のある南海医療センター等の専門病院へ紹介致します。

今後も皆様との出会い、ふれあいを大切にしつつ、スタッフ共々元気に診療を続けていきたいと思っております。

医療法人
志村内科・胃腸科
〒876-0847 佐伯市中の島3丁目2番2号
TEL 0972-25-1211
診療科/消化器内科・内科全般 院長/志村 剛



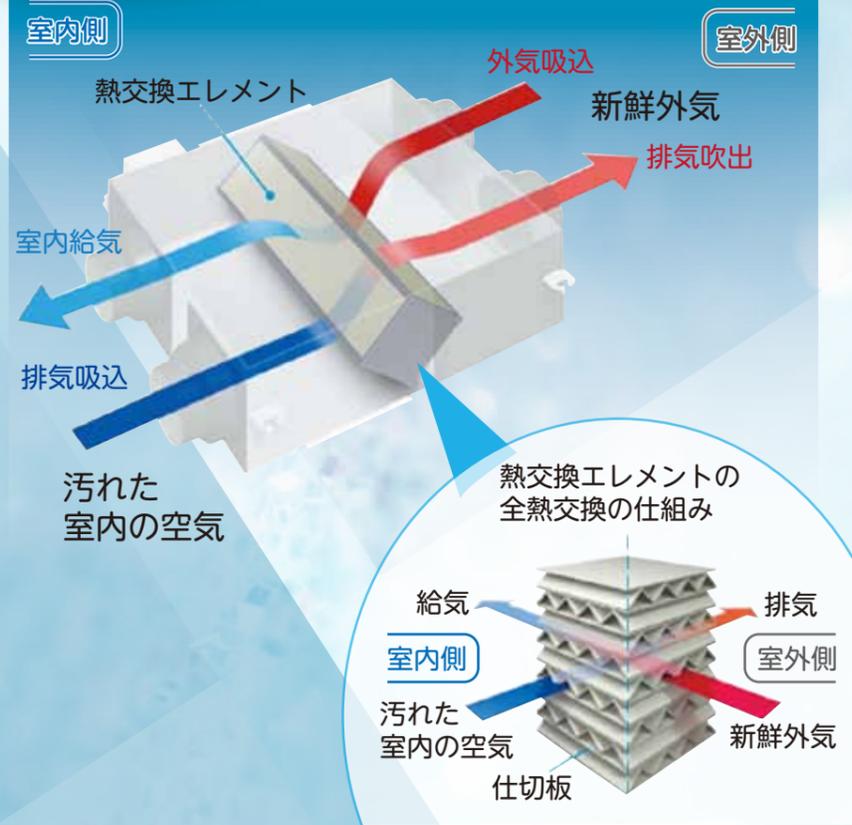
志村内科・胃腸科



院長からひとこと

病気のことや体調面で、日常お悩みがあれば気軽にご相談ください。

病室の換気システム



2024.10
vol.26

当院の病室にはエアコン連動の全熱交換式・給排気システムが天井に埋込設置されています。病室を締め切ったままにしているとウイルスを換気できない上、呼吸によるCO2濃度も上昇してしまいます。この給排気システムは強制的に室内の汚れた空気を屋外に排出し、新鮮な外気を室内に取り込む仕様ですが、図で説明しているとおり排気する冷気(冷房時)と給気する外気とで熱交換することによって室内温度上昇も抑制しています。COVID-19が流行して以来、以前にも増してウイルスに対する意識が高くなってきましたが、そう考えるとこのような病室の給排気システムがスタンダードになってくる日も近いのではないのでしょうか。※暖房時は暖気と熱交換し、中間期は送風を使用することで給排気システムを使用できます。

主任技能職員 岩田 幸弘

contents

- P1 病室の換気システム
- P2 診療科の紹介 消化器内科、新任医師紹介
- P3 南海老健敬老会の様子、中学生の職場体験、ソフトボール大会
- P4 連携医療機関の紹介 塩月内科・小児科医院、志村内科・胃腸科



〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町7-8

南海医療センター

<https://nankai.jcho.go.jp/>
TEL 0972-22-0547(代表)
FAX 0972-23-4083



診療科の紹介

消化器内科

部長 野口 地塩 医師



写真右から2番目



当院消化器内科の紹介をさせていただきます。

私が当院へ着任した2021年4月当初、消化器内科は私を含め2人体制で、内視鏡業務に関しては通常の上部・下部消化管内視鏡検査や比較的簡単な内視鏡治療が大半でした。もっとこの地域の役に立てたらと思うようになり徐々に消化管及び胆膵の治療内視鏡に取り組んで参りました。またもう一つの思いとして、活発な診療を行うためには人員の確保が必要と感じており、治療内視鏡などの取り組みが、派遣されるモチベーションの高い消化器内科医師にとって魅力になればと考えていました。

3年半が経過した現在、常勤は私と山中昂紀医師、蓼田 昌和医師の3人、さらに週2回の非常勤業務に大学から小坂聡太郎医師が派遣され皆で診療に当たっております。それに伴って全内視鏡件数は増加しており、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）やERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）などの治療内視鏡の件数やその質は大きく向上したものと（手前味噌で恐縮ですが）思っております。

当科の今年のトピックとしては、2月に透視装置が新しくなり、8月に内視鏡のシステムやスコープ一式が一新されました。透視も内視鏡もよく見えるようになり、私共のストレスは大変軽減されておりますが、今後は何より患者様へ還元できるよう、さらにクオリティの高い検査や処置を目指して参りたいと思っております。

今後とも皆様から御指導御鞭撻をいただきながら病診連携を図っていきたく考えております。

何卒宜しくお願い申し上げます。

新任医師の紹介

新任医師が着任しました。



地域の救急診療に少しでも貢献できるよう努力していきますので宜しくお願い致します。

救急科
おがた はるか
緒方 晴香 医師



日々全力で診療に取り組めます！よろしくお願ひします！

消化器内科
みのだ まさかず
蓼田 昌和 医師



耳鼻咽喉科の鄭と申します。地域の方々に来て良かったと思っただけのように頑張ります。

耳鼻咽喉科
てい たけなお
鄭 武尚 医師

老健 敬老会の様子



令和6年9月25日水曜日、2階・3階入所フロアにて敬老会を執り行いました。昨年同様面会制限中の為、職員と入所されている方で祝いの会となりました。今年は、長寿表彰者を代表して、喜寿1名、米寿5名、白寿2名、百寿1名、百歳以上の方1名と合わせて10名の方を、表彰させていただき一緒にお祝いしました。ささやかながらではありますが記念品のフェイスタオルも皆様へお配りさせていただきました。敬老会担当職員は、このような時期であるからこそ皆様に元気をお願い、「花笠音頭」の踊りを行い、お祝いの会に華を添えてくれました。残念ながら慰問の方やご家族様をお呼びすることが出来ませんでしたが、一日でも早く、平穏な日々を取り戻して、以前のように盛大に4大行事が出来る事を望んでいます。

私たちが、今日このように健やかで幸せな日々を営む事が出来るのは、先輩方の長年のご苦勞と努力があったからこそです。感謝・尊敬の気持ちを伝える事を忘れず、これからも利用者様が健やかに楽しい毎日を過ごしていただけるよう、少しでもお役に立てるよう、尽力してまいります。次回は、12月にクリスマス会を予定しております。少しでも、入所中の皆様の笑顔を引き出せるような、催しを考えていきたいと思ひます。



中学生の

職場体験



9月6日に鶴谷中学校の3年生5名が職場体験研修に来られました。放射線部や臨床検査室の見学、薬剤調剤、リハビリ、病棟での血圧測定、車いす搬送、患者様とのコミュニケーションなど様々な体験をしました。参加した学生からは「貴重な体験ができた」「医療系の仕事が見たいと思った」「患者さんとお話できて楽しかった」「将来に向けて努力したい」などの感想をもらいました。

私たちが中学生から若さとパワーをもらった一日でした。



4年ぶり

第37回 佐伯市医歯薬親善ソフトボール大会



コロナ禍で4年ぶりの開催となった第37回佐伯市医歯薬親善ソフトボール大会が9月20日に行われました。熱戦と熱い声援で大いに盛り上がり、1点を争う好ゲームとなりました。結果は、薬剤師会チームに13対12と逆転勝ち。両チームの素晴らしいプレーと本大会の目的である親善に十二分に体现する試合でした。スポーツを通じて地域医療の絆を深める貴重な機会となりました。